

画像の認識・理解論文特集の発行にあたって



画像の認識・理解論文特集編集委員会

委員長 前田 英作

本特集「画像の認識・理解」は、画像情報学フォーラム、情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) 研究会、本学会情報・システムサイエティ パターン認識・メディア理解 (PRMU) 研究専門委員会が共同で主催した第13回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2010: 2010年7月27-29日, 釧路市観光国際交流センター) の開催に合わせて企画されたものである。

1992年に始まった画像の認識・理解シンポジウムは、現在、毎年7月下旬に開催され、関連分野の研究者にとって夏休み前の重要なイベントとして定着している。MIRU2010 (<http://www.hci.iis.u-tokyo.ac.jp/MIRU2010/>) においても300件を超える論文投稿とともに、500名を超える研究者が一堂に会した。今や、MIRUの口頭発表セッションは、若手研究者の登竜門となりつつあり、更に、最優秀論文の選考対象となるセッションでは、本分野を先導している旬の研究者らがしのぎを削っている場であるといえよう。

本特集では、例年と同じく、MIRU2010で発表された優れた研究成果を論文として投稿して頂くよう促すとともに、画像の認識・理解に関わる新規の投稿も受

け付けた。その結果、レター1編を含めて52編の投稿論文があり、慎重かつ厳正な審査を行い、23編の論文を採録とした。このうち、MIRU2010優秀論文セッションの発表をもとにした4編は、「第13回画像の認識・理解シンポジウム推薦論文」として誌面上に明記した。ただし、査読のプロセス、採否判定基準は、すべての投稿論文において同一である。本特集に掲載された論文が、これから多くの研究者によって読まれ、本分野の更なる発展に寄与することを確信している。

最後に、優れた研究成果と投稿して下さった著者の方々、投稿論文を丁寧に閲読して頂いた査読委員の方々、査読結果を踏まえて厳正な審査をして下さった編集委員の方々、更に、編集委員会実務の円滑な進行に尽力頂いた編集幹事の北原格氏と飯山将晃氏、煩雑な事務作業に御協力頂いた学会事務局の皆さんに心よりお礼申し上げます。

まえだ 英いさく
前田 英作 (正員) 1984東大・理・生物卒。1986同大大学院理学系研究科修士課程了。同年NTT入社。1996-1997英国ケンブリッジ大学客員研究員。現在、NTTコミュニケーション科学基礎研究所主席研究員。阪大招聘教授。CREST「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」領域アドバイザー。工博。IEEE、情報処理学会、日本バイオインフォマティクス学会各会員。

画像の認識・理解論文特集編集委員会

委員長	前田 英作
幹事	飯山 将晃・北原 格
委員	石川 博・岩井 儀雄・岩村 雅一・大町 真一郎
	岡谷 貴之・岡部 孝弘・奥富 正敏・木村 昭悟
	佐藤 宏介・清水 郁子・高橋 友和・高松 淳
	田中 正行・増田 健・美濃 導彦・柳井 啓司